

会 議 録

1 会議名

令和3年度 第7回大潟区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

・協議事項（公開）

（1）自主的審議事項

「大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用促進について」

・その他（公開）

3 開催日時

令和3年11月25日（木）午後7時00分から午後8時50分まで

4 開催場所

大潟コミュニティプラザ 2階 大会議室、中会議室（1）

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：五十嵐郁代、五十嵐公子、金澤信夫、君波豊（会長）、佐藤忠治（副会長）

新保輝松、関清、土屋郁夫、中野幹根、濁川清夏、俵木一松、俵木晴之、

細井雅明、山岸敏幸（14名中14名出席）

・事務局：大潟区総合事務所 熊木所長、柳澤次長（総務・地域振興グループ長兼務）、

岩片班長、水澤主任

8 発言の内容（要旨）

【柳澤次長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【君波豊会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：関清委員に依頼

【君波豊会長】

それでは、協議事項（１）大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用促進について協議を行う。前回、班に分かれて協議していくこととなった。２班に分けて協議したいと思う。班分けの方法について意見はあるか。

（一同無し）

事務局と事前に協議した案でいいか。

（一同了承）

では、五十嵐郁代委員、金澤委員、佐藤副会長、関委員、中野委員、俵木一松委員、細井委員をA班、五十嵐公子委員、新保委員、土屋委員、濁川委員、俵木晴之委員、山岸委員と私をB班とする。班ごとに分かれ、司会、書記等を決めて進めていただきたい。

～グループ討議～

【君波豊会長】

では、全体での協議を再開する。班ごとの協議内容を報告いただきたい。

【佐藤副会長】

A班は、各委員が感じていることについて意見を出し合った。「温泉の効能のPR不足。人魚館と周りの旅館との距離感。設備が老朽化しているが、更新して使えるようにすることが必要。施設の特異性、得意性と持っている役割、問題点を議員、町内会と話し合うことが必要。」などの意見が出た。「問題や課題を洗い出し、現状分析をして、実現できる仕組みや体制を順序立てて話し合う必要がある。」という意見もあった。そこから、「PRについて」、「設備について」、「他の旅館、周辺との距離感について」の３つに分けて具体的に意見を出し合った。

【土屋郁夫委員】

A班と同じ意見が多かった。「大潟区には若い女性が行く場所が少ない。そういう層に来てもらうため、スイーツなどがあるといい。」といった意見が出た。そういった視点が大事である。「自分たちだけで協議するのではなく、地域協議会が主催してワークショップを実施して関心のある人や中学生に参加してもらい、様々な意見を集めてはどうか。」

という意見もあった。また、「ヨガやストレッチを指導できる人がいるのであれば、大広間等で実施して、SNSでどんどん発信していくといい。その際に市のインスタグラム「#上越もよう」と連携させて、建物や海の様子とあわせてPRしていくことは自分たちにもできるのではないか。大潟区には、大潟水と森公園、キャンプ場、温泉などいいところがあるが埋もれている感があるので自分たちがPRしていこう。」などの意見が出た。

【君波豊会長】

それぞれ出た意見を班で整理して、次に繋げていきたいと思うがいかがか。

(一同了承)

両班とも、誰が、いつ、どのように実行するのかというところに結びついていくと思う。本日の自主的審議事項の協議はこれで終了するが、次回また論議を深めていただきたい。

その他に移る。11月19日に大潟区連絡会議が開催された。その中で、大潟区の新年祝賀会については中止と決定したので報告する。地域協議会からは、第5回と第6回の地域協議会の概要と視察研修の内容を報告させていただいた。ほかに各委員から連絡事項はあるか。

(一同無し)

事務局から連絡事項はあるか。

【岩片班長】

第8回地域協議会は12月23日(木)午後6時30分から開催する。また、頸北地区地域協議会委員合同研修会について、日程のみ柿崎区から連絡がきた。令和4年1月25日(火)に開催予定である。詳細は、追って連絡する。

【佐藤忠治副会長】

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

大潟区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL: 025-534-2111 (内線 201、216)

E-mail: ogata-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。